

市仏連会報

発行所
 横浜市中区大平町96
 光明山西有寺内
 横浜市仏教連合会
 電話 045 (661) 0166

会長挨拶

柳下隆侃

うっとうしい梅雨も六月三十日から七月一日の未明にかけての颯風により命々終末の近さを覚え、本日よりお盆の月を迎えることになりました。

昨年末物故されました会員及び寺族の方々の御冥福を心よりお祈り申し上げます。

去る六月十八日の総会においては別に掲載されました昭和五十九年度事業報告と会計報告、並びに昭和六十年事業予定と会計予算を可決して頂きました。

本年度も昨年度に准じて予算を組みましたが、事業の内容を一段と充実させるべく、横浜市釈尊奉讃会と密に連繫を保ち一層の努力を傾注する覚悟でありますので、皆様がたの御協力をお願い申し上げます。

次に本年度の第一番目の事業として去る六月十一日に仏跡参拝を行いましたところ、二百八十余名の参加を得て、日向薬師と道了尊最乗寺の心温まる接待、ならびに御法話を頂き、参加者一同感激裡に終了する事ができました事は、各御寺院のご協力の賜物でありまして篤く御礼申し上げます。

特に当日御参加頂き何かと御世話を頂きました御寺院各位には感謝に耐えない次第であります。さて、先日、日本婦人の平均寿

命が八十才を越え、世界一の長寿国になったとの発表がありました。が、それと共に六月二十九日付の讀売新聞に「長寿世界の鹿児島徳之島泉重千代さんが、二十九日百二十才の誕生日を迎えましたが、我国でただ一人残って入る江戸時代生まれ。

トレードマークの白い仙人ひげも一段とつやを増して元気な日々を送っており、さらに長寿記録を更新できそう。

泉さんは慶応元年六月二十九日生まれ、サトウキビに囲まれた小高い丘の静かな環境に甥の孫にあたる泉昭彦さん(四十三才)順江さん(五十二才)婦人と一緒に暮らしており、最近母屋に隣接して隠居部屋が完成して喜んでいると、でていましたが幸せに長寿を保てるよう家族ならびに世間さまの御協力、思いやりがあつての事であり、私達仏教者も「渡る世間に鬼はない」と言われる様に自らを律しつつ多くの方々と共に努力しようではありませんか。

総持寺で講演を聞き
 先祖供養と精進料理に
 舌をうとう

- 一、日時 昭和六十年十月卅一日 午前九時半現地集合
- 一、場所 大本山総持寺
- 一、会費 御一名金三千円

第十二回総会終る

第十二回横浜市仏教連合会総会は、昭和六十年五月十八日(土)の午后二時から、中区大平町の西有寺にて開催された。

先づは副会長の佐藤泰心老師の開会の言葉に引続き、会長の柳下隆侃老師の挨拶、そして議長の出となつた。今回の議長は、保土ヶ谷旭区仏教会長である真福寺住職安井覚明老師がつとめる事で万場一致した。

多数の拍手の中、議長席について安井師は、なれた口調で先ず昭和五十九年度事業報告を専務理事である玄野師よろしくお願いします、はじまり続いて同決算報告を副会長の佐藤泰心老師から、そして監査報告があり、拍手によつて以上の件は承認されました。

続いて昭和六十年事業計画案を専務理事から、予算案を佐藤副会長から発表され、この件も全員承認を得た。

次に各地で役員の変更等があった場合は速やかに専務理へ通達してほしいと会長からの発言、次に仏跡参拝旅行を計画実施するについて現在参加者が少ないので募集をしてほしいとの通達で専務理事よりあり全員承認していただきました。

総会はめでたく閉会の言葉を佐藤副会長よりいただき、終わってビデオ鑑賞に入った。今話題の「お葬式」を上映、現在の一般人の葬式の考え方を勉強し散会した。

暑中御見舞

横浜市仏連合会

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|------|------|---------|------|-----|------|-----|------|-------|
| 名譽会長 | 梅田信隆 | 顧問 | 志村慎吾 | 参 与 | 福永隆昭 | 参 与 | 横山敏明 | 会 長 | 柳下隆侃 | 副会長 | 佐藤泰心 | 副会長 | 森山正城 | 会 計 | 内野公雄 | 専務理事 | 玄野孝善 | 事務研究委員長 | 山本芳昭 | 監 事 | 吉本十三 | 監 事 | 野沢隆幸 | 他役員一同 |
|------|------|----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|------|------|---------|------|-----|------|-----|------|-------|

第十回涅槃会修行せらる

昭和六十年二月十一日の小春日の午后一時半より横浜神奈川の高島台にある本覚寺にて第十回涅槃会が修行された。

本覚寺はアメリカ領事館跡と言う歴史ある寺であるが、この太平洋戦争で境内建物はすっかり焼失してしまつた。本堂の再建に境内の整備にと力を入れ自ら先に立つて境内の復興に努めた。

そのかいがあつて現在は港を見おろす高島台にすばらしい寺を見ることができるようになつた。

その寺を今回は会場にお借りすることをお願いしたところ、ご住職は心よくこれを引き受けて下さつた。

当番は当然神奈川区仏教会の皆様さんだ。

前もつて神奈川区仏教会の諸師と会合を持った時、特に若手の僧侶が非常によく協力して下さいるのには頭が下がる思いをした。

本覚寺は曹洞宗であるが、神奈川区には同宗が他に一ヶ寺しかなく、法要には特に曹洞宗僧侶が大数必要になつた。

そこで、曹洞宗の若手僧侶の会である青年同志会の会長である保土ヶ谷の随流院住職西村悦次老師に相談したところ、ころよく引き受けて下さり、当日は大きく広い本覚寺の本堂も多数の僧侶によ

り一段とにぎわいを感じるようになり読経の声も本山を思わせるような重厚な感じがした。

さていよいよ時間が来てまずは開式の言葉を市仏連副会長長森山正城老師にいただき、一同三礼、続いて市仏連会長柳下隆侃老師の導師のもと三帰依文の唱和に入つた

が、若い人、中年の人、年配の人とそれぞれが手を合わせ唱和する声には仏教のみ教えの重みが伝わつて来るような感じさへした。

続いて導師の啓白文の奉読、この文には釈尊の偉大なみ教えをそれに帰依して毎日をすごさせていた

だいている私達、その感謝を胸に会長の方師丈さまは大きな声でしっかりと啓白文を読まれ、続いて読経の中、善男善女の焼香、

了つて回向がうやうやしく読まれ一同両手を合わせて三礼し、法要は無事圓成した。

少々休憩の時間をとつた後、市仏連会長、横浜市釈尊奉讃会会長宇野忠夫氏、神奈川区仏教会及び

会場の本覚寺の住職と次々に御挨拶をいただき講演に入つた。

講演は、寒い時でもあるので、あまり体が堅くならないかたの方がよいだろうということで、落語家の橋家円蔵師匠を講演にお迎えする事にした。

本堂の東側に札を置き、そのうしろに金屏風を用意し円蔵師匠を待たすといつてもテレビで見ている

円蔵いや円鏡さんといったほうがピンと来るような感じで師匠が演壇に立たれた。

師匠は、特にご先祖さまを大切に

にする人であるという事を前々から聞いていたので、そのようなお話しがうかがえるのかと思つていたところ、突然ユーモアの話しか

ら入つて来た。そして、人生にはこんな事もあつたしとユーモア

たっぷりの中で話しをしていられるうちに気がついてみると、何とご自分のおいたちを話している事がわ

かつた。

その自分、今は広く世間でも知られるようになったが苦勞も多かつたし、つらい事もたくさんあつたし楽しい事も少々ありまし

た。

しかし何といつても親があつたからこそ今の自分があるんだ。今は亡き親に何を持って報恩感謝をしたらいいのだろう。

ただひたすらに努力をし、供養をして上げることであると私は思うし、またそうしてゆきたいと考へています……。とユーモアの中にも先祖供養の意味を語られました。

初夏を迎えすがすがしい緑が目にしみる季節横浜市仏教連合会では釈尊奉讃会と手を組んで第二回

目の仏跡参拝旅行を計画した。

六月十一日、早朝より横浜各地からバスが七台発車した。

一号車は、保土ヶ谷旭区と瀬谷区の仏教徒、二号車は金沢区と西区そして神奈川区、三号車は緑区、

四号車は港北区、五号車は戸塚区、六号車は磯子区と中区の皆さん

一同発車したバスは早朝の風を切つて東名高速道路に入った。

何となくまだ寝むい目をこすりながら……。ついたところは海老名サービスエリアである。

ひとまずここで全車合流し役員一同顔合せをした後出発、伊勢原市日向の「日向薬師」に参拝だ。

バスをおりて境内に通じる石段の両わきにはうっそうと茂げる樹木、その間から湿気がたがだよ。

だれしもこの石段登ることができるとかと思ひ心配したところ何

か登り切つた。

本堂に参拝し、重要文化財の宝物殿を住職の説明に従つて見学、だれ一人むだ話をしていない、こんな山中にすばらしいものを見ましたと全員感激の声……。

約一時間程で下山し次の参拝寺である「大雄山最乗寺」へとバスは走つた。

最乗寺は曹洞宗の修行寺でもあつて境内は良く整備されている。駐車場にバスがつくと(写真)たちまち大杉木立ちの間から靈気がただよつて来る。

本堂前で記念の撮影をすませ、書院にて昼食、その後最乗寺の僧侶から法話をいただき、一同御真殿に向かつた。

御真殿は最乗寺の最も多く参拝客のおとずれるありがたいところで、道了尊がおまつりされているところだ。

参拝客の心体健全、交通安全、心願成就、家内安全等の御祈禱をしていただき、その後、市仏連会長柳下隆侃老師、釈尊奉讃会会長宇野忠夫氏の挨拶をいただき山を下つた。

全員胸につけたリボンに風になびかせながら喜びの声があちこちから聞こえて来る……。

バスは最後にカマボコ工場へ向かいカマボコの生産過程を見学し、それぞれにお土産を手に帰路についた。実にすばらしい参拝旅行であつた。次回にぜひあなたも。



春の仏跡参拝旅行

保土ヶ谷・旭区仏教会

○一月二十一日 御所台に於て新年会の開催 十二名参加

○三月七日 真福寺に於て三役会の開催、春の仏跡参拝、花まつり総会準備について協議

○春の仏跡参拝旅行 三月二十六日から二十七日にかけ、はじめて一泊旅行を試みた。坂東の礼所満願寺と大雄寺参拝の後、鬼怒川のニュー岡部に一泊、翌日は筑波科学博見学ということであったが、生憎の雨にたたられ科学博は寒さも加わり快適とは言えなかった。特に五台のバスのうち一台が渋滞に巻き込まれることもあって一泊旅行のむずかしさを痛感しました。また、一泊すると参加者も半減してしまつた。秋には市川の法華経寺祖師堂(新しく重文指定)等を予定している。

○四月八日 花まつり、各寺に風船、ポスターを配布、また旭区の老人ホーム白寿荘には例年の会長他数名の住職が伺ひ花まつり藻仙会を催した。三仏寺吉川師の法話と、長昌玄野師のたのしい歌唱指導があり盛会かつたのしい雰囲気であった。

○四月十九日 真福寺に於て役員会の開催

○四月三十日 六十年総会を西口「かこや」で開催いたし、事業計画、予決算審議の他、税理士の大埜氏をオブザーバーに迎え、近況報告があった。

今年度行事として「時代に対応した超宗派懇談会」を開き、これ

からの寺院の在り方と仏教会の活動使命を討論する予定、当日出席者十九名で今までにない盛況であった。

○五月十八日市仏連総会・六月十七日県仏連総会に会長出席、両会とも更に活性化を計るため会員相互がもっと考えねばと思う。



○福聚寺客殿落成式
六月保土ヶ谷岩井町臨濟宗建長寺派福聚寺(森山正城住職)の客殿が見事完成十一時より落成式が挙行された。
当寺経営の保育園児の献華と歌の奉呈があり、雨中ながら盛会であった。

磯子区仏教会

一、無尽例会 会所は会員寺院もち巡りにて毎月実施し連絡懇談。

二、理事会 4月23日峰町護念寺に於て、第一回理事会を開催。

三、59年度事業案統一総会承認。

四、市仏連行事に協力、特に6月21日、市仏連奉賛会が主催の皇后参観仏跡巡拝は盛会で、当会参加者四十七名。

五、法人税源泉の申告、6月と12月に加藤会計士を依頼して申告

六、四ヶ寺、更に厳しくなる模様。歳末助け合い托鉢。12月6日に洋光台駅前で実施。会員の拠出金七万円、募金五一八九五円、計一一、八九五円を神奈川新聞社を通じて寄託。

七、忘年会。12月20日関内福久にて懇談会、出席十五名。

八、積尊奉賛会。入会のすすめと、会費納入のお願い。

九、60年1月3月の予定。

1月 新年会………於電珠院

2月 涅槃会参加………於本覚寺 会長出席。

3月 理事会役員改選於海照寺。

磯子区仏教会長 滝川覚道

60年度は右に準じて実施、その他予定行事

1、本年度中にルンビニ復興寄金徴集

2、一泊懇親会

その他

60・1・19 定期総会及新年会 於丸美世九左衛門

60・1・25 金沢区積尊奉賛会と

金沢区仏教会

其催で成田山と房総花めぐりの旅

60・2・15 涅槃会 於葉王寺

60・2・17 花まつり実行委員会 於竜華寺

60・3・7 花まつり主任及総務協議会 於金蔵院

60・3・9 花まつり臨時総会 於天然寺

60・4・7 第三十九回金沢区仏教会並金沢区積尊奉賛会主催花まつり大会

金沢区仏教会 会稚児練供養並法要式典 出発会場天然寺大会会場伝心寺

60・5・11 区仏連理事会 於大門

60・5・18 定期総会 於金蔵院

60・5・25 臨時総会 於金蔵院

60・6・1 役員改選

60・6・9 新役員主任理事会 於葉王寺

60・6・27 金沢区積尊奉賛会と共催静岡方面寺社参拝旅行バス四台

60・7・1 教化新聞「慈光」お盆号発行

お 願 い

横浜市仏教連合会では、各支部にあたる区の仏教会活動を知らせていただき、どこの区がどのようになに活躍しているか、またどのようにな催しをしているか、皆さまがたに広報をして、仏教布教活動の参考にしていただけたら幸いと願っております。

どうぞ今後も支部だよりを写真・絵等でもよいですどしどしお寄せ

いただきたくお願いたします。

私は市仏連の専務理事を、お任せ使つて九年目になった。

市仏連の新しい行事として昨年からは積尊奉賛会と協力して仏跡参拝旅行を実施するようになった。昨年は皇居特別参観と浅草寺の参拝、それに浜離宮へと川下り、というちよと変わったコースで募集してみたところ大多数のあなたが参加して協力して下さいました。

しかし、皇居ばかりというのもと思ひ今年には常務理事会で希望のべていただいたところ大雄山最乗寺と日向薬師のコースが選ばれました。だが、はたして昨年とちがつて参加者が有るのだろうか心配に心配をしました。

役員の中からも反対の意見もありました。旅行は観光会社のフトコロを温めるだけにすぎないバカバカしい事だ。忙しいところなお忙しくなるばかりだという声も聞かれました。

しかし一度決定したからには何とか成功させねばならないと思ひ一人でもいいから頑張つてみようと思ひました。案内張の件、会計の件、行先との連絡、観光会社との相談と夜もろくろく寝ずに努めました。その時に手をさしのべ協力して下さいたのが積尊奉賛会の役員さんでした。ほつとした気持ちのゆとりで大成功する事が出来ました。各仏教会の諸師がたこれからも良いご指導をぜひお願い申し上げます。

横浜市仏教連合会 昭和59年度収支計算書

| | | | |
|-----|---|-----|-------------|
| 総括表 | { | 収入金 | 2,218,640 円 |
| | | 支出金 | 1,805,102 円 |
| | | 差引額 | 413,538 円 |

(自 昭和59年4月1日～至 昭和60年3月31日)

横浜市仏教連合会 昭和60年度歳入歳出予算書

| | | | |
|-----|---|-----|-------------|
| 総括表 | { | 歳入金 | 2,237,538 円 |
| | | 歳出金 | 2,237,538 円 |
| | | 差引額 | 0 円 |

(自 昭和60年4月1日～至 昭和61年3月31日)

| 収 入 の 部 | | | |
|------------|-----------|-----------|-------|
| 科 目 | 予算額 | 決算額 | △ 増 減 |
| ① 会 費 収 入 | 824,000 | 824,000 | |
| 1. 会 費 | 824,000 | 824,000 | |
| 鶴見区 | 70,000 | 70,000 | |
| 神奈川区 | 60,000 | 60,000 | |
| 港北区 | 114,000 | 114,000 | |
| 緑区 | 80,000 | 80,000 | |
| 西区 | 58,000 | 58,000 | |
| 中区 | 46,000 | 46,000 | |
| 保土ヶ谷・旭区 | 56,000 | 56,000 | |
| 南・港南区 | 114,000 | 114,000 | |
| 磯子区 | 38,000 | 38,000 | |
| 金沢区 | 52,000 | 52,000 | |
| 戸塚区 | 120,000 | 120,000 | |
| 瀬谷区 | 16,000 | 16,000 | |
| ② 雑 部 金 | 800,000 | 1,137,972 | |
| 1. 雑 入 金 | 500,000 | 992,972 | |
| 2. 寄附金及繰入金 | 300,000 | 145,000 | |
| ③ 過年度収入金 | 0 | 0 | |
| 1. 会 費 | 0 | 0 | |
| ④ 前年度繰越金 | 256,668 | 256,668 | |
| 1. 前年度繰越金 | 256,668 | 256,668 | |
| 収 入 合 計 | 1,880,668 | 2,218,640 | |

| 歳 入 の 部 | | | |
|------------|-----------|--------|-------|
| 科 目 | 予算額 | 前年度予算額 | 差引増減△ |
| ① 会 費 収 入 | 824,000 | | |
| 1. 会 費 | 824,000 | | |
| 鶴見区 | 70,000 | | |
| 神奈川区 | 60,000 | | |
| 港北区 | 114,000 | | |
| 緑区 | 80,000 | | |
| 西区 | 58,000 | | |
| 中区 | 46,000 | | |
| 保土ヶ谷・旭区 | 56,000 | | |
| 南・港南区 | 114,000 | | |
| 磯子区 | 38,000 | | |
| 金沢区 | 52,000 | | |
| 戸塚区 | 120,000 | | |
| 瀬谷区 | 16,000 | | |
| ② 雑 部 金 | 1,000,000 | | |
| 1. 雑 入 金 | 200,000 | | |
| 2. 寄附金及繰入金 | 800,000 | | |
| ③ 過年度収入金 | 0 | | |
| 1. 会 費 | 0 | | |
| ④ 前年度繰越金 | 413,538 | | |
| 1. 前年度繰越金 | 413,538 | | |
| 収 入 合 計 | 2,237,538 | | |

| 支 出 の 部 | | | |
|--------------|-----------|-----------|-------|
| 科 目 | 予算額 | 決算額 | △ 増 減 |
| ① 総 務 費 | 250,000 | 154,880 | |
| 1. 事 務 所 費 | 100,000 | 50,000 | |
| 2. 事 務 渉 外 費 | 50,000 | 53,610 | |
| 3. 通 信 交 通 費 | 100,000 | 51,270 | |
| ② 需 要 費 | 570,000 | 640,780 | |
| 1. 会 議 費 | 520,000 | 530,780 | |
| 2. 慶 弔 費 | 50,000 | 110,000 | |
| ③ 事 業 費 | 870,000 | 856,070 | |
| 1. 税務墓地委員会費 | 20,000 | 0 | |
| 2. 涅槃法要費 | 300,000 | 341,070 | |
| 3. 会報発刊費 | 250,000 | 215,000 | |
| 4. 奉讃会事業協力費 | 300,000 | 300,000 | |
| ④ 助成金・負担金 | 170,000 | 100,400 | |
| 1. 助 成 金 | 150,000 | 80,000 | |
| 2. 負 担 金 | 20,000 | 20,400 | |
| ⑤ 雑 支 出 金 | 0 | 52,972 | |
| 1. 過年度支出金 | 0 | 0 | |
| 2. 雑 支 出 金 | 0 | 52,972 | |
| ⑥ 予 備 費 | 20,668 | 0 | |
| 1. 予 備 費 | 20,668 | 0 | |
| 合 計 | 1,880,668 | 1,805,102 | |

| 歳 出 の 部 | | | |
|--------------|-----------|--------|-------|
| 科 目 | 予算額 | 前年度予算額 | 差引増減△ |
| ① 総 務 費 | 250,000 | | |
| 1. 事 務 所 費 | 50,000 | | |
| 2. 事 務 渉 外 費 | 100,000 | | |
| 3. 通 信 交 通 費 | 100,000 | | |
| ② 需 要 費 | 480,000 | | |
| 1. 会 議 費 | 330,000 | | |
| 2. 慶 弔 費 | 150,000 | | |
| ③ 事 業 費 | 1,000,000 | | |
| 1. 税務墓地委員会費 | 20,000 | | |
| 2. 涅槃法要費 | 430,000 | | |
| 3. 会報発刊費 | 250,000 | | |
| 4. 奉讃会事業協力費 | 300,000 | | |
| ④ 助成金・負担金 | 170,000 | | |
| 1. 助 成 金 | 150,000 | | |
| 2. 負 担 金 | 20,000 | | |
| ⑤ 雑 支 出 金 | 100,000 | | |
| 1. 過年度支出金 | 0 | | |
| 2. 雑 支 出 金 | 100,000 | | |
| ⑥ 予 備 費 | 237,538 | | |
| 1. 予 備 費 | 237,538 | | |
| 合 計 | 2,237,538 | | |

次年度繰越金 413,538円

監査 吉本十三 野沢隆幸

昭和60年5月18日

昭和60年5月6日
上記の支出監査の結果正当と認めます。
上記のとおり収支決算書を提出致します。

上記の通り歳入歳出の予算案を提出いたします。

横浜市仏教連合会 会長 柳下隆侃

横浜市仏教連合会 会長 柳下隆侃

横浜市仏教連合会

役員名簿

昭和六十年七月一日現在

Table listing board members and their positions, including names like 曹洞宗大本山総持寺, 梅田信隆, 志村慎吾, etc.

Table listing regional representatives (理事) and their respective districts, such as 保土ヶ谷区, 磯子区, 磯子区, etc.

Table listing regional secretaries (常務理事) and their respective districts, such as 戸塚区, 中野区, 戸塚区, etc.

事務日誌

Table with columns for date, event name, and location, detailing various activities like 三役会の開催, 区仏教回参列, etc.

仏教会と布教

Main body text discussing Buddhist activities, church expansion, and community efforts in Yokohama.

編集後記

Editorial notes and reflections on the magazine's content and future plans.